

しかし、わたしが与える水を飲む人は、いつまでも決して渴くことはありません。

わたしが与える水は、その人の内で泉となり、永遠のいのちへの水が湧き出ます。

高松泉キリスト教会 ニュースレター

第 183 号 (2025 年 6 月号)

いずみ

仮会堂：高松市浜ノ町 60-78
(日曜日のみ)
Tel ; 070-2247-2181
発行人 宮地 宏一



5 月から幼稚園に通い始めた 3 歳の次女。ずっと幼稚園に行きたかったのも、最初の日には意気揚々と園の中に入って行きました。ところが二日目、園に着くなり泣き出し、三日・四日目は自転車に乗るやいなや泣く始末。五日目は泣くことなく自転車に乗り、調子良く園の中に入って行きましたが、突然「わたし、泣くんだったわ」と思ったらしく、涙をいっぱいためて泣いたのです。女優のように、泣きたいときに泣けるなんて、すごいと感動すら覚えた私。今は、自転車の後ろに乗って、歌を歌いながら元気に登園しています。



浜ノ町会堂での礼拝がスタートしています。そして現教会堂は中旬から取り壊す予定です。愛着のある教会堂が無くなってしまう寂しさと新しい教会堂への期待、いろいろな感情が入り混じっています。工事期間中、近隣の皆様にはご迷惑をおかけすることになりますが、どうぞ、よろしくお願いします。

今月も神さまからの恵みが、お一人お一人の上に豊かに注がれますように。 (2025.06.01)

待つ恵みを覚えて

先月、「世界で最も貧しい大統領」と呼ばれた南米ウルグアイのホセ・ムヒカ氏が亡くなりました。彼は収入の 9 割を寄付し、質素な生活をしていたそうです。けれど彼は「私は一度も貧しいと思ったことがない。…むしろ自分は豊かだと思う」と語るのです。そのムヒカ氏が忙しすぎる日本人に「日本の新幹線は確かに素晴らしい技術。でも一分一秒を惜しんで、一体どこに行こうというのか」と問いかけます。

新幹線【のぞみ】が開通した当初【のぞみ】が走ったことで、【望み】がなくなった」なんてことを言っている人がいました。以前は、丸一日かかっていた遠出の出張が、【のぞみ】の出現で移動時間が大幅に短縮され、早く帰れるようになる。このことで仕事量が倍増して、さらに忙しくなったとのことです。確かに速さ・効率を求めることは、悪いことではありません。



しかし私たちが速さ・効率ばかりに目を奪われていると、徐々に余裕が失われていくのです。何もしないでボーっとしたり、待っている時間が無駄に思えます。80 年代に「私 待つわ いつまでも 待つわ」という曲が流行りましたが、今の私たちは待てないですね。

ネットで注文したものが一日でも遅れると、文句を言いたくなります。レストランで注文したものが、少し待っても出てこないとい我慢できず、店員さんに声をかけてしまうのです。一分一秒を争う生活をしているわけではないのに、なぜか私たちは待てません。そんなに焦って、私たちはどこに行こうとしているのでしょうか…

私たちは今を落ち着いて、生きていない感じがします。立ち止まって、じっくり考えることが少なくなったのです。どんどん前へ前へと進み、常に前のめり。生き急いでいるのです。

なぜ私たちは生き急ぎ、待つことができないのでしょうか。聖書には、繰り返し【待つ】という言葉が出てきます。「**主の前に静まり耐え忍んで主を待ち望め**」神さまを【待つ】とは神さまの助け・救いを**心待ちにする**ことです。創造主なる神さまは、早く効率的であることを望んでおられません。むしろ、**あえて待たせる**。

神さまはアブラハムに子どもを与えると約束されてから、約 20 年彼を待たせます。その間、我慢できず、先走った行動をした時もありましたが、神さまのあわれみによって、約束のことばが実現するのを待ち望み続けるのです。そしてついに息子イサクが誕生し、神さまのことばを**待ち望む**幸い・恵みを深く味わうのです。

またイスラエル人は約束の地カナンに入る前に、約 40 年荒野で過ごします。これは彼らの不信仰が原因でした。けれど、この荒野での旅を通して、彼らは**神さまのことば**に従うことの大切さを学び、約束の地に入ることを待ち望むのです。

もっともイスラエル人が待ったのは救い主でしょう。神さまは**救い主イエスさま**が誕生する実に四百年以上前から救い主を遣わすと約束されました。だから彼らはずっと救い主の誕生を待ち望んでいたのです。

私たちの祈りも、**すぐに答えられるわけ**ではありません。数年、数十年後に答えられることだってあるのです。では、どうして神さまは私たちを待たせるのでしょうか。それは私たちが神さまのなさる**素晴らしいわざ**を見て、**神さまに頼る**者となるためです。【待つ】間に、私たちができることは、多くありません。

私たちが**努力**したら、すぐに祈りが答えられたり、神さまの助けが素早く与えられるわけではないのです。自分の思い通りにはなりません。**忍耐深く**神さまの助け・救いを待つ必要があるのです。このように【待つ】ことで、私たちは自分が頑張らなければという思いを**手放し**、最善をなしてくださる神さまにすべてをお任せできるようになります。

少し前、私はとても悩んでいたのです（私だって、悩みます笑）。何をやっても上手くいかない。すべてをネガティブに捉え、疲れ切り、**燃え尽きそう**でした。そんなとき、次の聖書のことばが目に残ったのです。

わがたましいよ なぜ
おまえはうなだれているのか。
なぜ 私のうちに
思い乱れているのか。
神を待ち望め。

これは聖書の中にある**詩篇**という詩の一節です。この詩を書いた人は思い乱れ、絶望していたようです。そんな彼が**我に返って**、自分に言い聞かせます。「神さまがともにおられるのに、何でそんなに沈み込むのか。神さまの助けを待ち望め」と。私もそうでした。絶望し、**思い乱れていた**とき、神さまの存在、助けを忘れ、自分の力だけで頑張ろうとしていたのです。

このことに気づいた時から、私は少しずつ**肩の力を抜き**、神さまの助けを待ち望み、神さまに委ねることができるようになりました。そうすると私のうちから不安・恐れ・悩みが徐々に**消えていった**のです。ぜひ、ご一緒に耐え忍んで神さまを待ち、神さまに**すべてを委ねて**歩むことができれば幸いです。



- **礼拝** 毎週日曜日 10：30～12：00
- **イズミン・キッズ** 毎週日曜日 9：30～10：20
- **おやこ de えほん** 毎週水曜日 10：30～12：00

* どなたでも歓迎いたします！すべて事前申込みなしで参加いただけます。

上記の他に様々な相談や聖書の学びをすることができます。お気軽にお問い合わせください。

